

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 25 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102187		
法人名	社会福祉法人 松山紅梅会		
事業所名	グループホーム 梅本の里		
所在地	松山市北梅本町1624番地1 (電話) 089-975-6985		
管理者	野本 浩二		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 11 月 5 日	評価確定日	平成 20 年 12 月 26 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 10 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 5 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 14 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	16.1 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	円	その他の経費(月額)	17,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 10 月 1 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	9 名	要介護 2	名
要介護 3	3 名	要介護 4	3 名
要介護 5	3 名	要支援 2	名
年齢	平均 82.6 歳	最低 70 歳	最高 94 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

郊外の小高い山の中腹に運営法人の福祉施設があり、その一角にホームがある。開設して約7年半が経過し、利用者の日常生活の機能がやや低下してきているが、ゆったりとしたスペースや自然の四季がある環境での生活により、利用者が職員も生活のリズムができており、落ち着いた生活を送っている。本年10月より職員はユニットを固定しない勤務体制としている。居間は床暖房が設置されており、各居室にトイレを設けている。利用者ごとに、力や希望に応じた役割や楽しみごとがあり、職員は個々に支援している。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

防災訓練は定期的に法人として合同で実施しているが、夜間を想定した訓練をホーム単独でも実施している。玄関の意見箱を大きく見やすくし、意見や苦情は法人全体で窓口を設けて、共有している。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

全職員が各自で自己評価に取り組み、各ユニットのリーダーがまとめている。評価の意義を理解した上で振り返りを行っている職員もおり、今後も意義を理解しながら改善に向けて取り組む姿勢を続行していくことを期待する。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

2か月に1回、定期的開催している。ホームの状況報告やその都度の情報提供を行い、ホームへの理解を深めてもらっている。具体的な検討事項としては、ホームのあり方、地域との関わり、年間行事の予定や報告、外部評価、高齢者虐待・身体拘束等があり、また食事を試食してもらい意見を聞くこともある。地域の行事等の情報収集の機会にもなっており、地域との交流にもつながっている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

来訪時に情報交換を行い、電話や手紙等で生活ぶりを伝え、家族から出された意見は職員間で早急に検討し、対応している。玄関に意見箱を設置し、運営法人の苦情相談対応窓口等を明示しており、内容によってはホームだけでなく法人全体で共有している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

運営法人が地域に根ざしたものとして発展してきた経緯があるため、法人全体として地域との連携・交流を深めてきている。今後はさらにホーム単独でも交流できるよう、ホームの役割を知ってもらいながら、利用者が主役になれるような取り組みを行っていくことを期待したい。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム梅本の里

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)
氏名 野本 浩二

評価完了日 平成 20 年 10 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 施設全体の理念を基にグループホーム独自の「利用者と共に笑い家族と共に歩み地域と共に支え合う」という目標を掲げている (外部評価) 法人全体の理念を基に、ホームの職員で検討し、理念や目標をたてている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員会議などで理念を前提に一人一人ケアを見直している (外部評価) 目に触れる場所に掲示し、常に意識しながら日々のケアの実践に繋げていくよう努めている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族の面会や、行事の参加が少ない方がいるため家族全員に浸透できていない。	※	家族の集まりやすい時間などを検討して家族会の開催などを試みていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 買い物、散歩などの外出時には地域の方々に職員から挨拶するよう心がけている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事には欠かさずさんかさせてもらっている。またサロンへの誘いもあり月1回参加している。幼稚園や小中学校との交流も月1回程度で行っている。 (外部評価) 法人全体が地域との交流を大切に考えて努力している。運営推進会議や地域の行事、法人行事、地域の高齢者や子どもたちとの交流等、多岐に亘る交流ができています。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 夏祭り、運動会などに地域の老人会の方々をお誘いしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 経験が長い職員は意義を理解できているが、新人職員やグループホーム勤務の経験がない職員はあまり理解できていない。 (外部評価) 職員全員が自己評価に取り組み、各ユニットのリーダーがまとめている。職員の経験や立場により記入が難しい項目もあるが、評価に取り組むことが日々のケアの振り返りにつながったと考えている。今後はさらに改善に向けて取り組む姿勢がある。	※	評価についてを職員会議でよく説明し、今後のスキルアップに繋がるようにしていきたい。
				※	職員全員に評価の意義の理解を深めるよう働きかけながら、評価が日々のケアやホームの運営に活かされることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 地域の方々に取り組み内容を報告し意見を頂きながらサービスの向上に活かしている。		
			(外部評価) 2か月に1度開催し、情報提供やサービスの状況報告等を行っている。会議での検討事項や意見は早急に検討し、サービスの質の向上に活かしている。メンバー構成の再検討や、利用者及び家族の参加について等、今後の課題として検討していく予定である。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進委員会でしか行き来できていない。	※	行政に広報誌を配るなどして行政にどンドンアピールしていく必要がある。
			(外部評価) 運営推進会に出席してもらうことが市との連携の主となり、行き来する機会が多いとは言えない。	※	市担当者等とゆっくり相談等する機会がまだ十分でないが、今後の具体的な取り組み等に期待したい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員が参加する勉強会などで学習する機会があり、その学習内容を、職員会議で報告している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待は絶対にしてはいけない、あってはいけないと心にとめ、注意を払っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居されるときに最初から十分に説明し、理解を得るようにしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 個別処遇などで一対一になれる環境を作り、その時に利用者の不満、苦情等を伺うようにしている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 施設での行事の時や体調の変化などあった時はその都度連絡するようにしている。職員異動などは広報誌を通じてお知らせしている。また金銭管理に関しては、預かり金帳に記入し定期的にご家族にサインを頂くようにしている。 <hr/> (外部評価) 家族の来訪時には必ず声をかけて情報交換し、また必要時には電話や手紙で連絡している。書類は定期的に送付して報告している。金銭の管理を依頼されている利用者の家族には定期的に管理帳にサインをもらい、職員の異動はホーム便り等でも報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置している。また管理者が家族面会時に意見、苦情を聞くようにしている。 <hr/> (外部評価) 家族の来訪時には意見交換を密にしており、家族が意見等を話しやすい雰囲気づくりに努めている。玄関に意見箱を設置している。意見等には法人全体で対応する姿勢があり、法人内で共有して運営に反映している。	※	家族が意見や苦情を言いやすい環境にしていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 統括施設長が職員一人一人と一ヶ月～二ヶ月に一回面談を行っている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 現状にあった介護をしていくために常に勤務時間、勤務体制について職員会議で話し合うようにしている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 特に離職を最小限に抑えるため、常日頃より各職員より不平不満を聞きそれに対応できるよう努めている。 (外部評価) 異動や離職を少なくするよう配慮しているが、交代時は引き継ぎを確実にし、職員間で協力し合っている。本年10月より、ユニットを固定しないよう職員の勤務形態を変更しており、全職員で利用者を支援している。利用者への影響等はあまり見られないが、今後も継続して検討を続けていくことにしている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 中予研修などに毎月参加して頂き、介護に対する意識を高めてもらっている。 (外部評価) 法人内の研修及び外部研修に参加している。ホームが経費負担する研修もあり、受講者は報告書を提出し、伝達研修を行っている。定期的な職員会議時等に時間をとってホーム内研修も実施している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 連絡協議会の管理者交流会や地域包括支援センターの主催する職員交流会などを通じて情報交換を行いサービスの質の向上に努めている。 (外部評価) 連絡協議会管理者交流会や地域包括支援センター職員交流会等に参加した際に情報交換等を行っている。他事業所との交流の必要性を感じており、今後の取り組みを検討したいと考えている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 統括施設長の面談でそれぞれ思っていることを言うよう心掛けている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 学習したい研修などがある時など積極的に参加し、各自それぞれ向上心を持っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居時の面接で不安なことや求めていることを出来る範囲で理解するようにし、信頼関係が築けるよう努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居時の面接で家族の不安、求めていることをよく理解できるように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 初めて見学に来られた方などの話をよく聞き本当にその人にあったサービスかどうか検討している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 数日間体験入居という形をとり少しずつ施設の雰囲気に馴染んで頂けるようにしている。 (外部評価) 利用者及び家族とよく話し合い、ホームの見学や体験利用など、個々に合った方法を工夫しながら、徐々に馴染めるよう配慮している。法人内の他施設を利用していた方の場合はすでに馴染みの関係ができていることが多い。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 常に利用者の視点に立って考えるよう心掛けている。また行事などを通して共に支えあう関係を築けている。 (外部評価) 職員は一緒に楽しく生活することを目標としており、共に支えあう姿勢がある。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) よく訪れてくださる家族が限定されているため、すべての家族と支えあう関係ではない。	※	家族が訪れやすい雰囲気作りをしてより多くの家族がよく訪れるようにしていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事などに家族をお誘いして、一緒に過ごして頂く時間を作っている。	※	来る家族と来ない家族がいる。来ない家族が来れやすい環境作りに努めていきたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 個別処遇を利用して、以前住まれていた所に行ってみたり、家族を訪問するなどしている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者が孤立しないように職員がうまくコミュニケーションをとったりして中間的役割ができています。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービスが終了しても、関わりを必要とする利用者や家族に対して、関係を続けていけるよう配慮している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) なるべく本人の希望が叶うよう、思いや意向を把握し支援している。 (外部評価) 日々の暮らしの中での会話や行動から、気持ちの把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) テレビや新聞の情報をきっかけに昔はどうでしたか？などの質問などで把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一日の流れを毎日記録し、心身状況においても、記録をとり現状の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 三ヶ月毎にケアプランの見直しを行っている。家族に対しては、その結果を文書を基に伝えている。 (外部評価) 利用者及び家族の情報や希望を把握し、職員間で情報を出し合いながら検討して作成している。	※	現状ではケアプラン見直しの際、家族の意見があまり聞けていないので今後改善していきたい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 三ヶ月毎にケアプランの見直しを行っている。また急な変化が見られた時などは緊急に介護計画の見直しを行っている。 (外部評価) 利用者の生活や身体の状態を評価し、家族等に要望等を聞きながら3か月に1度の見直しをしている。また、状況に変化があった場合はその都度見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 介護記録をし、気付いた事は連絡ノートなどに記入し情報の共有に努めている。	※	記録の研修などにもっと積極的に参加していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 総合施設の利点を活かし、合同の会議などにおいて情報を共有し、お互い助け合っている。 (外部評価) 本人の希望や家族の要望等に対しては、家族の協力も得ながら支援しており、個々の希望にそって通院・墓参り・美容院・季節の買い物・公民館活動等の支援をしている。家族の宿泊も可能な体制となっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員の協力により地域のサロンに参加させて頂いている。また施設全体の消防訓練では消防の方も協力して下さっている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 合同の行事など話にはできてはいるが、実施には至っていない。	※	他の事業所と合同で行事を行うなどといった話はあったが話だけで現時点で行えていないため、今後実現するよう努力したい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進委員会や地域包括支援センターの主催する会議などを通して、協働している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 隔週の主治医の往診を受けている。協力病院以外の病院の医師を主治医にされている方は家族が受診支援を行っている。 (外部評価) 本人及び家族の希望するかかりつけ医への受診を支援している。協力医療機関による2週間に1度の往診もあり、適切な医療が受けられるよう配慮している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医が認知症に詳しいため、相談、診断を行っている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携体制において看護師と24時間連絡体制を築いている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 家族や本人と十分に話し合いを行って決めている。また入院を希望されていないご家族の意向を大切にしている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人や家族の意見を尊重し早い段階から話し合いを行っている。 (外部評価) 本人・家族・医師等と状態の変化に合わせてその都度話し合いを持ち、全員で方針を共有しながら検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ターミナルケアなどの支援に向けて、研修に参加するなどし、取り組んでいる。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 特養に移る際など十分に家族、本人、特養職員と話し合い情報交換を行うようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) プライバシーを損なうような声掛けや対応はよく考え接するようにしている。また個人情報などは持ち出しを禁止している。 (外部評価) 利用者を尊重した対応を心がけており、プライバシーにも十分配慮している。書類や個人情報の取り扱いにも注意を払っており、適切に管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望をできるだけ取り入れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個人個人に意見を聞きそれを尊重しそれぞれのペースで生活できるように支援している。 (外部評価) 基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりのペースを大切に、体調やその日の希望に配慮しながら支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) それぞれが希望される美容院、理容院に行くようにしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立を立てる時、利用者の希望を聞いたり外食に出掛けたりしている。配膳や後片付けも一緒にされている。 (外部評価) 利用者の好物、誕生日のリクエストメニューなど、食事が楽しみの一つとなるよう献立等にも配慮している。食事の準備や片付けは職員と共に個々に力や希望に応じた役割を担ってもらっている。共に会話を楽しみながら落ち着いた食事風景となっている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の希望に応じて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表などを用いて排泄リズムを把握し気持ちよく排泄できるよう努めている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望を尊重し、入りたい時に入浴していただけるよう配慮している。 (外部評価) 本人の希望に合わせて、体調をチェックしながら支援している。希望があれば時間帯は問わないが、午前中に入る方が多い。利用者の状態に応じてリフト付の浴槽も利用が可能となっている。	※	行事などの状況によっては希望どうりの入浴の支援ができていないので、今後工夫していきたい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 身体の調子に合わせて気持ちよく休んでいただけるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 時代劇鑑賞、ドライブ、畑作業など、一人ひとりの希望に応じて支援できている。 (外部評価) 新聞やテレビの当番、食事の準備や片付け、畑作業、洗濯物たたみ、掃除など、力に応じた役割を担ってもらい、活躍してもらおう場面を用意している。また、利用者とともに外出を計画したり、食事のメニューを考えたり、カラオケやお喋り、散歩等を楽しみごととしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご自分で管理できる方はご自分で所持されている。	※	ご自分で所持されている方の金額を職員が把握できていな事があるため今後気をつけていきたい。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 個別処遇などで利用者が希望している所へ出掛けている。 (外部評価) 毎月1回程度は皆で出かけるよう計画している。身体機能の低下等も見られるため、負担にならないよう行き先に配慮している。少人数での外出も計画し、喜ばれている。天候や体調を見ながら手作り弁当持参のピクニックもしている。散歩は日常的に行い、ホーム周辺の自然や季節を味わうことができている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 家族の協力により、普段行けない所に行かれる方もいる。	※	身体の状況によりあまり外出が出来ない方もいるため、今後の工夫が必要。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望により支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 誰でも気軽に訪問できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 基本的に身体拘束は行っていない。しかし転倒防止を優先するなどといった家族の意見を優先する場合は同意を得た上での検討も必要。	※	具体的な行為を研修等を通して正しく理解したい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵は掛けていない。夜間に関しては玄関の鍵を掛けている。 (外部評価) 日中は玄関の鍵を開けており、自由に出入りできるようになっている。居室は施錠していない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 所在確認チェックリストを作成し配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて取り組んでいる。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 積極的に研修に参加し、日々学習している。	※	業務に追われて研修に参加する余裕が無い時もあるので、もう少しゆとりが欲しい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 対応マニュアルはあるが定期的には行えていない。	※	研修等を通して、正しく理解していきたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 施設全体で年二回消防訓練を行い。グループホーム単独でも年一回程度行っている。 (外部評価) 運営法人が合同で年2回避難訓練を実施しているが、本年6月には夜間を想定しての避難訓練をホーム単独でも実施している。地域への働きかけは法人を通じて対応している。地震等自然災害への具体的な対応は今後の課題となっている。	※	自然災害時の対応についても具体的に検討し、安全を確保していく取組みを期待する。また、非常用の備蓄についても検討することを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) できてい方とできていない方がいる。	※	家族全員を対象とした家族会を開催し、今後話し合える場を設けたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 定期的にバイタルチェックを行うとともに日頃の利用者の身体の変化に気を付けている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 記録等を通して情報を共有して変化に気を付けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 看護師や医師に相談し、便秘の改善に努めている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 定期的な歯科往診、歯磨きの声掛け、義歯の消毒を実施している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量のチェックやその方に合った調理の工夫をしている。 (外部評価) 食事摂取量は把握しており、必要な場合は水分摂取量もチェックしている。時々、栄養士による食事内容のチェックを受けている。また、一人ひとりの状態や力に応じて柔らかくしたり、ミキサーにかけるなど形態に配慮したり、使用する食器等を工夫するなど、個々の力で食べることを支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 一応はできているが完璧ではない。	※	感染予防の学習会を行うなどして職員一人ひとりの知識を高めていきたい。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 月一回の検便を実施している。また手洗いや調理器具の消毒もこまめに行うようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 環境美化委員を設置し、玄関周りの整頓、清掃を心掛けている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花などを飾り、穏やかな気持ちで過ごせる様工夫している。 (外部評価) 窓から眺める風景は、自然が多く季節を感じるができる。台所と居間は見通しがよく、事務室からも確認しやすい。風呂場や脱衣場は明るくゆったりして、手すりや滑り止めのマットも設置して安全に配慮している。居間にはソファもあり、好みの場所を個々に確保している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テレビの前にソファを設置し一緒にテレビやDVDを楽しめる様にしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) なるべく使い慣れた家具などを持ってきて頂いている。また好みでご自由に飾りつけなども楽しませている。 (外部評価) 各居室にトイレがある。家具はできるだけ各自が使用していたものを持ち込んでもらっている。ダンス、衣装箱、ソファ、テレビ、仏壇、花や鉢植え、人形、絵や書、本、文具等で個性ある部屋となっている。家族の協力を得ながら、季節の衣類の入れ替えや整理等を本人と共にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) こまめに換気に気をつけて、嫌な臭いがこもらない様にしている。消臭剤の設置	※	失禁の多い利用者の居室などなかなか臭い消えない場合もあるため、今後の工夫が必要。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりに合うよう工夫している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 混乱を避けるため、声掛けのタイミング等を工夫している。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ベランダに植木を置いたり、散歩するなどして有効に活用している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	よく面会に来られる家族は決まった方々ですすべての家族がよく来るというわけではない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに ④ ほとんどない	

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、活き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族の気持ちを確かめることがなかなか出来ない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

地域のサロンに誘って頂けるのはとてもありがたいことだと思います。徐々に利用者のADLが低下して以前のような活動ができなくなっていますが、今の現状で皆さんに満足していただけるようなグループホームをこれからも目指していきたい。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム梅本の里

(ユニット名)

2F

記入者(管理者)

氏名

山中 敬子

評価完了日

平成 20 年 10 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 施設全体の理念を基に、GH職員全員で意見を出し合い理念をつつくりしている (外部評価) 法人全体の理念を基に、ホームの職員で検討し、理念や目標をたてている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) よく見える場所に掲示してあり、具体的な実践につながっていないが、取り組む努力はしている (外部評価) 目に触れる場所に掲示し、常に意識しながら日々のケアの実践に繋げていくよう努めている。	※	ケアの実践につなげていくよう取り組まなければならない
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族には、入所時説明はしているが浸透するまでにはいたっていないと思う。地域への取り組みはできていない	※	運営推進会議や地域のサロンに参加した際などに話す機会をつくったりして浸透に努めたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時 買い物時など、積極的に挨拶などを行っているが、それ以上のつながりにつながっていない		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 夜市やサロンに参加して地域の人々との交流に努めている。幼稚園 小・中学校とは月1回ほど交流があり、事業所として夏祭りや運動会・地方祭などに地域の方に来ていただき交流を図っている (外部評価) 法人全体が地域との交流を大切に考えて努力している。運営推進会議や地域の行事、法人行事、地域の高齢者や子どもたちとの交流等、多岐に亘る交流ができています。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 事業所としては介護者・家族・地域の方との勉強会などを行っている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員会議で意義について話したが、勤務経験の浅い職員は評価がむずかしいようであるが、自己評価により日ごろの振り返りに役立っている。改善につながっている部分もある (外部評価) 職員全員が自己評価に取り組み、各ユニットのリーダーがまとめている。職員の経験や立場により記入が難しい項目もあるが、評価に取り組むことが日々のケアの振り返りにつながったと考えている。今後はさらに改善に向けて取り組む姿勢がある。	※	職員全員に自己評価 外部評価の意義の浸透を図ってきたい
				※	職員全員に評価の意義の理解を深めるよう働きかけながら、評価が日々のケアやホームの運営に活かされることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に1回 話し合いを行ない、そこでの意見をサービス向上に活用している (外部評価) 2か月に1度開催し、情報提供やサービスの状況報告等を行っている。会議での検討事項や意見は早急に検討し、サービスの質の向上に活かしている。メンバー構成の再検討や、利用者及び家族の参加について等、今後の課題として検討していく予定である。	※	家族の参加が少ないので積極的に参加の呼びかけをしていきたい
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) できていない (外部評価) 運営推進会に出席してもらうことが市との連携の主となり、行き来する機会が多いとは言えない。	※	運営推進会議をきっかけに行き来できる機会をつくりたい
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修などに参加したことはあるが、活用を支援するまではいたっていない	※	権利擁護についてもっと理解をする必要がある
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修などで勉強する機会をもち職員それぞれが心がけている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、契約書・重要事項説明所等を十分説明を行っている。また、解約をする際は経過をおって家族と話し合いを行って結論を出している		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 個別処遇等で一対一で話せる環境を作ったり、介護相談の方に来ていただき、外部者へ表せる機会を設けている。また、その都度職員に意見・不満など話せる環境づくりをしている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 健康状態は変化がみられる都度、電話で連絡をしている。暮らしぶり・職員の異動などについては、来所された時お伝えしている。金銭管理は、預かり金帳に定期的にサインをいただいている (外部評価) 家族の来訪時には必ず声をかけて情報交換し、また必要時には電話や手紙で連絡している。書類は定期的に送付して報告している。金銭の管理を依頼されている利用者の家族には定期的に管理帳にサインをもらい、職員の異動はホーム便り等でも報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置して意見を求めている。事業所として苦情受付をはっきりさせている。外部者へ表せる機会には設けられていない (外部評価) 家族の来訪時には意見交換を密にしており、家族が意見等を話しやすい雰囲気づくりに努めている。玄関に意見箱を設置している。意見等には法人全体で対応する姿勢があり、法人内で共有して運営に反映している。	※	家族会を開いていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 施設長との定期的な面談の機会を設けている。職員会議などを活用し意見を聞く機会を設けている		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) GH全体の職員で、状況の変化に応じた勤務の調整を行っている		各階 固定の勤務をなくした為、勤務調整がしやすくなった
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 移動や離職を極力少なくしているが、やむをえない場合は家族・利用者とその理由を説明し、全職員でカバーしあって利用者の不安を最小限に抑えるように努めている (外部評価) 異動や離職を少なくするよう配慮しているが、交代時は引き継ぎを確実にし、職員間で協力し合っている。本年10月より、ユニットを固定しないよう職員の勤務形態を変更しており、全職員で利用者を支援している。利用者への影響等はあまり見られないが、今後も継続して検討を続けていくことにしている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 施設内・施設外などの研修の機会をもうけている。施設外研修に参加した時は研修記録を残し、記録を活用し職員会議で勉強会を行っている (外部評価) 法人内の研修及び外部研修に参加している。ホームが経費負担する研修もあり、受講者は報告書を提出し、伝達研修を行っている。定期的な職員会議時等に時間をとってホーム内研修も実施している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 相互研修・ネットワークづくり・勉強会・研修などの活動を通じてサービスの質を向上させていく取り組みをしている (外部評価) 連絡協議会管理者交流会や地域包括支援センター職員交流会等に参加した際に情報交換等を行っている。他事業所との交流の必要性を感じており、今後の取り組みを検討したいと考えている。	※	地域の他事業所との関係を深めていきたい
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 面談や相談しやすい環境づくりに取り組んでいる		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 実績や勤務状況は把握しているが、なかなかその持てる力・向上心を十分生かしていないところもある	※	個々の得意分野の活用などを考えていきたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 個別処遇等で一対一で話せる環境を作ったり、介護相談の方に来ていただき、外部者へ表せる機会を設けている。また、その都度職員に意見・不満など話せる環境づくりをしている		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の立場にたった対応に努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 利用者 家族 ケアマネージャーとの連携をとって、どのように支援していくかを決めるようにしている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人・家族と面接を行い、ホームの見学、体験入所などを通してホームの雰囲気に徐々に馴染んでもらっている (外部評価) 利用者及び家族とよく話し合い、ホームの見学や体験利用など、個々に合った方法を工夫しながら、徐々に馴染めるよう配慮している。法人内の他施設を利用していた方の場合はすでに馴染みの関係ができていることが多い。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の持てる力に応じて食前・食後の手伝い、洗濯たみ、畑仕事、買い物などをしていただき、支援する立場、支援される立場でなく、ともに支え合う気持ちで援助している (外部評価) 職員は一緒に楽しく生活することを目標としており、共に支えあう姿勢がある。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) GH便りを送ったり、行事参加の声掛けをしたり、来所の時などにコミュニケーションを図り、家族との関係も継続できるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 入所時の面接や面会時に情報収集し、よりよい関係を継続できるように援助している		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) バックグラウンドを職員全員で共有したり、日々の会話のなかで得た情報を活用し支援に努めている		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し、コミュニケーションがとりにくい場合は職員が中間的役割をしてかわりを持てるように支援している		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 大切にしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の会話を大切にし、利用者の希望や意向・気持ちの把握に努めている。困難な場合は、本人本位で検討している (外部評価) 日々の暮らしの中での会話や行動から、気持ちの把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時にバックグラウンドを把握している。また、面会時、日常の会話のなかより把握に努めている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 介護記録の記入により現状を総合的に把握し、様々な援助に努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 最初の介護計画は家族よりの情報を基に職員で話し合い作成し、2ヶ月目からは3ヶ月に一度を目安に利用者の生活の様子、身体状況の変化に応じて職員で検討し、作成をしている。その後、家族にはその都度説明をし、了解を得ている <hr/> (外部評価) 利用者及び家族の情報や希望を把握し、職員間で情報を出し合いながら検討して作成している。	※	家族の意見もケアプラン作成前にお聞きし、反映できるようにしたい
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 利用者の生活の様子や身体の状態を観察し、精神面も大切にしながら、必要に応じて主治医とも相談して3か月に一度見直しを行っている。状態の変化に応じては随時見直しを行い、家族には了解を得ている <hr/> (外部評価) 利用者の生活や身体の状態を評価し、家族等に要望等を聞きながら3か月に1度の見直しをしている。また、状況に変化があった場合はその都度見直ししている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) できている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 併設施設の機能を活用し、大型バスでの外出、施設内の散歩、機能に応じた機械浴の利用、他部署主催の行事への参加などを行っている (外部評価) 本人の希望や家族の要望等に対しては、家族の協力も得ながら支援しており、個々の希望にそって通院・墓参り・美容院・季節の買い物・公民館活動等の支援をしている。家族の宿泊も可能な体制となっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域のサロンに出かけたり、消防訓練を行ったり、幼稚園・小中学校との交流などを行い、協力しながら支援している	※	外部に出た際、職員がGHのアピールをしていきたい
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他事業所との連携はとれていない	※	積極的に他事業所との交流を図っていきたい
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括を軸にしたネットワークづくり 勉強会に参加している	※	地域包括を軸に地域の他事業所との連携を図っていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人・家族の希望する主治医から2週間に1度往診を受けている。また、併設施設の看護師とも話し合いながら、支援している (外部評価) 本人及び家族の希望するかかりつけ医への受診を支援している。協力医療機関による2週間に1度の往診もあり、適切な医療を受けられるよう配慮している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力病院の中に心療内科の医師がいる		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携体制により日常的に利用者の健康管理や医療活用の支援をしている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力病院と連携をとっている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人・家族・医師などと変化に合わせて話し合いを持ち、ホームでの看取り、入院、他施設に移るなど検討をし、全員で方針を共有している (外部評価) 本人・家族・医師等と状態の変化に合わせてその都度話し合いを持ち、全員で方針を共有しながら検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に努めている。今後の変化に備えて看取りの勉強会を行っている。夜間・緊急時の対応についてもその都度検討を行っている		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族・関係者で十分話し合いや情報交換を行い、最善の選択ができるよう努めている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 職員は利用者への声掛けや対応は本人の誇りやプライバシーを損ねないよう十分配慮して支援している。個人情報の取り扱いも家族と相談しながら、秘密保持の徹底に努めている (外部評価) 利用者を尊重した対応を心がけており、プライバシーにも十分配慮している。書類や個人情報の取り扱いにも注意を払っており、適切に管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 個別処遇等で思いや希望を表せるように援助している。個々のわかる力に合わせた説明を行い、決定・納得ができるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人の希望に沿い、また体調に配慮しながら買い物、入浴、散歩、レクリエーションなどの支援をしている (外部評価) 基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりのペースを大切に、体調やその日の希望に配慮しながら支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) その人のらしい身だしなみやおしゃれができるように、その人の機能に合わせて支援している。月に1回施設での美容の援助があるが、本人の望む店に行けるようにも援助している		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立に利用者の好物、誕生日にはリクエストメニューを取り入れ、栄養士が栄養チェックをしている。その人の機能に合わせて介助、食事形態の工夫をしている。食事の準備、片付けなども一緒にして頂いている (外部評価) 利用者の好物、誕生日のリクエストメニューなど、食事が楽しみの一つとなるよう献立等にも配慮している。食事の準備や片付けは職員と共に個々に力や希望に応じた役割を担ってもらっている。共に会話を楽しみながら落ち着いた食事風景となっている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの好みのものを日常的に楽しめるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェックなどを行い排泄のリズムをつかみ、トイレで排泄ができるよう支援している		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人の希望に合わせて支援している。入浴前には体調チェックをしている (外部評価) 本人の希望に合わせて、体調をチェックしながら支援している。希望があれば時間帯は問わないが、午前中に入る方が多い。利用者の状態に応じてリフト付の浴槽も利用が可能となっている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) その人の生活習慣や身体状況に合わせた寝具の利用、排泄の不安をなくす援助などを行い、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 畑仕事、食事の手伝い、洗濯たたみなどを手伝って頂き活躍のできる場面をつくり生活を楽しんでいただいている。カラオケ、おしゃべりなど楽しんでいただき、気晴らしの支援をしている (外部評価) 新聞やテレビの当番、食事の準備や片付け、畑作業、洗濯物たたみ、掃除など、力に応じた役割を担ってもらい、活躍してもらおう場を用意している。また、利用者とともに外出を計画したり、食事のメニューを考えたり、カラオケやお喋り、散歩等を楽しみごととしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を持つことの意味を理解し、家族と話し合い、その人そのひとに合わせて所持、利用できるように援助している		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 買い物 散歩 ドライブ 個別処遇などを利用して戸外に出かけられるよう支援している。利用者の希望する所はもちろん、なじみの場所にも外出できるよう支援している (外部評価) 毎月1回程度は皆で出かけるよう計画している。身体機能の低下等も見られるため、負担にならないよう行き先に配慮している。少人数での外出も計画し、喜ばれている。天候や体調を見ながら手作り弁当持参のピクニックもしている。散歩は日常的に行い、ホーム周辺の自然や季節を味わうことができている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個別処遇を活用し希望する所への外出を支援しているが、家族の協力がなかなか得られていない	※	家族とも協力して外出できる機会を作りたい
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は利用者の好きな時間に使えるようになっている		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気軽に訪問して頂けるよう挨拶や会話に努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会などにより、職員は身体拘束について正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 様々なケースが出た場合はその都度検討している		身体拘束だけでなく、言葉での拘束も行わないようにしている
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間の玄関以外は鍵をかけないケアに取り組んでいる (外部評価) 日中は玄関の鍵を開けており、自由に出入りできるようになっている。居室は施錠していない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜最低でも2時間に一度は安否確認をしている	※	ヒヤリハットを検討し、安全確保に努めたい
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 針仕事をしたい方にはスタッフ管理ではあるが、使えるように保管している。洗剤などは、目につかない場所に保管している		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの状態を把握し予想できるリスクを話し合い、対策を確認するようにしている。ヒヤリハットの活用によりリスクの共有を図っている	※	事故が起こった後の検討をしっかりと行い、事故の再発を防ぎたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 救命救急の研修を定期的を受けているが、利用者の急変や事故発生時の備えとしては不十分である	※	日常の中で定期的に勉強会や訓練を行いたい
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 防火管理者を中心に年2回消防訓練、年1回避難訓練を行っているが、備えとしては不十分である (外部評価) 運営法人が合同で年2回避難訓練を実施しているが、本年6月には夜間を想定しての避難訓練をホーム単独でも実施している。地域への働きかけは法人を通じて対応している。地震等自然災害への具体的な対応は今後の課題となっている。	※	夜間想定避難訓練を行いたい 自然災害時の対応についても具体的に検討し、安全を確保していく取り組みを期待する。また、非常用の備蓄についても検討することを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクと自由について、その都度家族と話し合い本人本位での対応を検討している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 定期的なバイタル測定、体調の変化や異変の発見に努め、看護師とも連携し早期対応に努めている	※	一人ひとりの通常の状態の把握に努めると共に、異変に対する知識を深めたい
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋を活用し、職員で薬の目的などを共有している。完全に服薬が終わるまで見守り、症状の変化の確認に努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 乳製品を取り入れ、排便チェック表・水分摂取表などを活用し、予防・対応に努めている		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 出来る方への声掛け、出来ない方への介助、夜間の義歯洗浄を行っている。また、定期的に歯科受診をしている		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量のチェック、必要に応じて水分量のチェックを活用し、一人ひとりに合わせて支援している (外部評価) 食事摂取量は把握しており、必要な場合は水分摂取量もチェックしている。時々、栄養士による食事内容のチェックを受けている。また、一人ひとりの状態や力に応じて柔らかくしたり、ミキサーにかけるなど形態に配慮したり、使用する食器等を工夫するなど、個々の力で食べることを支援している。		栄養士を中心に栄養バランスを考えた食事を提供できるようにしている
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染予防のマニュアルを作成し、実行している		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 調理器具などの消毒を行い、魚などは調理するその日に、野菜などは2日に1度買って新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。また、常に冷蔵庫の掃除を行い、食材を管理している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 道路に面した所に看板を出し分かりやすくしている。花壇や表札を作って親しみやすい雰囲気づくりをしている。併設施設で敷地の奥に建物があるので、近隣の人が出入りにくい	※	近隣の方へのアピールをもっとしていかなければならない
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 壁絵や月ごとの壁新聞を貼ったり、季節の花を生けるなどして季節感をだしている。不快な音や光がないように配慮し、居心地よく過ごせるような工夫をしている (外部評価) 窓から眺める風景は、自然が多く季節を感じることができる。台所と居間は見通しがよく、事務室からも確認しやすい。風呂場や脱衣場は明るくゆったりして、手すりや滑り止めのマットも設置して安全に配慮している。居間にはソファもあり、好みの場所を個々に確保している。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファや藤椅子をテーブル席以外に設けて一人になれたり、利用者同士の交流の場として活用している		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入所前に使っていた寝具、タンス、アルバム、人形などを持ち込んでいただき、自分の部屋らしく居心地よく過ごせるように工夫をしている (外部評価) 各居室にトイレがある。家具はできるだけ各自が使用していたものを持ち込んでもらっている。タンス、衣装箱、ソファ、テレビ、仏壇、花や鉢植え、人形、絵や書、本、文具等で個性ある部屋となっている。家族の協力を得ながら、季節の衣類の入れ替えや整理等を本人と共にしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) こまめな換気に努めている。温度調節は温度計だけでなく、利用者の体感温度に応じて対応している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりや車椅子など一人ひとりの身体機能に合わせて対応ができています。室内では極力車椅子の利用を控えて身体機能の低下を防げるよう援助している		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとりのわかる力に合わせて、トイレや居室が分かるように目印となるものをつけたり等して、混乱や失敗を防げるように工夫している		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 各居室からベランダに自由に出ることができ、散歩や景色をながめ季節を楽しんだりされている。中庭を散歩したり、花壇・畑を活用している		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) 3 たまに ④ ほとんどない	

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) ③ あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、活き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者に、ここにいて安心、ここにいて楽しい、ここにいて生き生きとした生活が送れると思って頂けるよう援助に努めています